



NPO法人

一関文化会議所 会報

No.36

■令和3年6月15日発行
 ■NPO法人 一関文化会議所
 ■〒021-0884 岩手県一関市大手町2-16
 一関文化センター内
 ■TEL FAX : 0191-32-4333
 月～金曜日 9:00～17:00
 ■E-mail : npo-bunka@ichi-bun.com
 ■発行：理事長 内田 正好

ふるさと学習院、同講座集録集の作成、 顕彰事業、子ども文化振興事業を計画

令和3年度 通常総会

令和3年度NPO法人一関文化会議所通常総会は、4月27日に一関文化センター小ホールで開催され、令和2年度事業報告、同一般会計収支決算、令和3年度事業計画、同一般会計収支予算の4件の議案を承認しました。

通常総会理事長挨拶



皆様、本日はコロナ禍にも拘らず、NPO法人一関文化会議所の令和3年度通常総会に御出席を戴き、誠に有り難うございます。

昨年以來世界中がコロナ感染に振り回され、平凡な日常を奪われてしまい、何かと気遣いや不安に押し潰

されそうな毎日です。

昨年度は感染予防のため、講座や鑑賞事業の定員を止むなく制限して規模を縮小したり、延期・中止を余儀なくせざるを得ないという残念なケースもありました。市民の皆様には大変御迷惑をお掛けしてしまったことを心からお詫び申し上げる次第です。

本日の総会も、手指の消毒と検温やマスクの着用、三密を避けて換気を心掛け、万全を期しての開催となりましたのでよろしくお願い致します。

さて本日の議事は

- ・令和2年度の事業報告と収支報告
- ・令和3年度の事業計画案と収支予算案

等について、御審議をお願い致します。

尚今年度は、平泉の世界文化遺産登録10周年を迎え「奥の細道サミット」の開催が企画されており、講座「一関ふるさと学習院」では、新しい視点から奥の細道を考えます。その他、顕彰事業や「一関ふるさと子ども探検隊」、鉱山が遺した秋田の近代化産業遺産に学ぶ現地探訪等も計画しております。様々な課題をクリアして実施していきたいものです。

ところで、憂鬱になりがちなか中で、嬉しいニュース

があります。昨年11月3日の文化講演会の講師金澤翔子さんによる揮毫の作品「飛翔」を、御本人が寄贈して下さいました。その額がこの程完成して、大ホール入口正面の壁面に掲げられました。金澤さんの進むようなエネルギーと洗練された気品のある運筆には圧倒されます。そして「飛翔」という言葉の深い意味が、私達の心を励まし勇気づけてくれます。まるで私達が
大空に羽搏いて、自然や社会を俯瞰しているような気持ちにさせてくれます。

結びに、令和3年度も私共は市民の皆様方に文化や芸術に触れて戴き、心の潤いや豊かな気持ちを実感できる場を提供していけるように努力をして参ります。どうか皆様の御理解と御支援を宜しくお願い申し上げます。



令和3年度通常総会

議案の内容

議案第1号 令和2年度事業報告

- ◆一関ふるさと学習院事業
 - ・3回講座及び現地探訪 延べ参加人数154名
- ◆顕彰事業
 - ・一関文化賞表彰式(令和2年11月5日(木))
 - 会場：一関文化センター中ホール
 - 一関文化賞 小野寺誠二郎 様
 - おはなしばちばち 様
 - 一関女声合唱団 様

◆子ども文化振興事業

- ・春休み親子のコンサート 音楽の絵本 370名参加
- ・東大生出前科学授業及び一関ふるさと子ども探検隊は中止

◆研修・視察事業

- ・「鉾山が遺した秋田の近代化産業遺産に学ぶ」は中止

◆会報事業

- ・会報34号、35号の発行

注) 事業の中止は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため

議案第2号 令和2年度一般会計収支決算報告

議案第3号 令和3年度事業計画

◆事業の概要

- (1) 芸術文化、教育に関する事業
 - ・文化・教育振興のための講座等の開設
 - ・子どもの文化振興に関する事業
- (2) 顕彰事業
- (3) 文化、芸術、生涯学習の研修・視察事業
- (4) 文化団体等の育成支援
 - ・文化活動への支援
 - ・民俗芸能保存・伝承活動の支援
 - ・郷土文化史の掘り起こし
 - ・特色ある地域づくり活動への支援

議案第4号 令和3年度一般会計収支予算

令和3年度役員・理事

理事長	内田 正好	奨励委員会	委員長	只野 弘三
副理事長	伊藤 勝義		副委員長	阿部 了子
専務理事	熊澤 厚子		委員	小岩 邦弘
専務理事兼事務局長	鈴木 悦朗		委員	千田 良一
事業委員会	委員長	畠山 篤雄	委員	橋本 欽哉
	副委員長	石川喜代子	委員長	佐藤 健三
	委員	東 資子	副委員長	伊藤 福子
	委員	阿部 儀信	委員	菅原 淳一
総務委員会	委員	小野寺 廣	委員	村上喜久恵
	委員長	安東 正利	監事	山田 共子
	副委員長	大河原節子	監事	佐藤 一十
	委員	佐藤 武生	事務局	阿部 静香



令和3年度通常総会

令和3年度研修・視察事業

鉾山が遺した秋田の近代化産業遺産に学ぶ

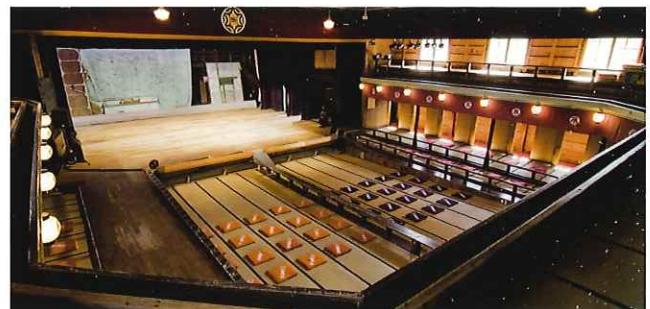


総務委員会 委員長 安東 正利

昨年度、新型コロナウイルスの影響から中止した秋田の近代化産業遺産について学びます。

明治の一時期、日本一の銀生産高を誇った小坂鉾山によって遺された近代化産業遺産である、旧小坂鉾山事務所、芝居小屋康楽館を訪ね、日本の近代化を支えた鉾山の歴史と今も地域資源として利活用されている施設について学ぶ計画です。

新型コロナウイルスに関わる状況を踏まえ、実施について検討をいたします。



令和3年度 一関ふるさと学習院

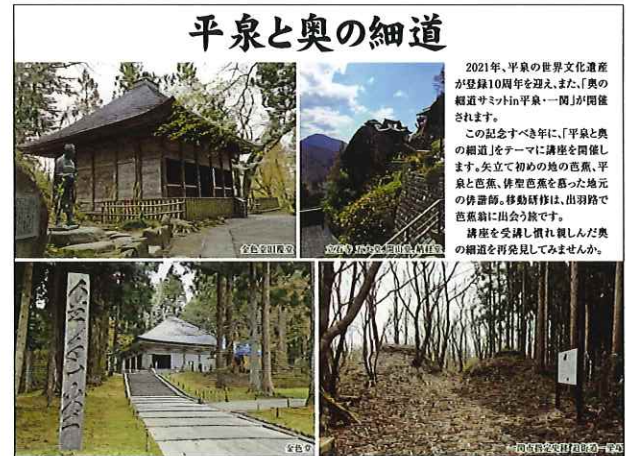
平泉と奥の細道

事業委員会 委員長 島山 篤雄

新市10周年を機に「一関地方の歴史と文化を見つめる」ことを大きなテーマに掲げ、新市域を俯瞰し、様々な角度、視点から各年度の講座内容を企画立案して、ふるさと学習院を実施しています。

2021年、平泉の世界文化遺産が登録10周年を迎え、また、「奥の細道サミットin平泉・一関」が開催されるこの記念すべき年に、「平泉と奥の細道」をテーマに講座を企画いたしました。

第1回目の講座は、旅の目的地のひとつであった平泉での芭蕉に、第2回目は、奥の細道の旅へと出立する地、矢立初めの句を詠んだ地「千住」での芭蕉に思いをはせ、第3回目は、旅で平泉の後の行程となる出羽路にて芭蕉の姿を探訪します。第4回目は、当地方の芭蕉句碑を通じて、俳聖芭蕉を慕って活躍した地元の俳諧師について学びます。



開 講 計 画

回	開催日時 内 容	会 場 講 師
1	6月16日(水) 14:00~16:00 おくのほそ道の平泉 芭蕉にとって平泉は旅の目的地のひとつだったようです。『おくのほそ道』平泉の章段と曾良の随行日記から、彼らが目指した平泉の名所旧跡を訪ね歩いてみたいと思います。	一関文化センター小ホール 平泉文化遺産センター 参与 千葉 のぶたね 信胤 氏
	7月14日(水) 14:00~16:00 奥の細道矢立初めの地「千住」と松尾芭蕉 元禄2年3月27日、松尾芭蕉は江戸から奥の細道の旅へと出立しました。旅の最初に矢立初めの句「行く春や鳥啼き魚の目は涙」を詠んだのが千住の地(現東京都荒川区・足立区)です。千住は日光道中の初宿が置かれた江戸の北のゲートとして発展した地域で、旅を愛した芭蕉、諸大名をはじめ多くの旅人が行き交いました。芭蕉がどのような思いで千住の地を踏んだのか、そして、後世の人びとが奥の細道ゆかりの千住をどのように見つめて来たのかを考えます。	一関文化センター小ホール 荒川区立荒川ふるさと文化館 上級総括学芸員 野尻 かおる 氏
3	9月15日(水) 8:00~17:00(予定) 出羽路に誘う 「閑さや岩にしみ入る蟬の声」と読まれた立石寺を訪ね、句碑や蟬塚など奥の細道関連の世界に触れます。山形県立博物館では出羽の歴史文化を体感します。	集合場所 一関市総合体育館(ユードーム) 見学予定地 ・宝珠山立石寺 ・山形県立博物館
	10月13日(水) 14:00~16:00 磐井の芭蕉句碑と俳諧師 磐井地方に点在する芭蕉の句碑の紹介と当地方において活躍した俳諧師たちについてお話しします。	一関文化センター小ホール 一関市博物館 学芸員 鈴木 ゆうき 雄己 氏

令和3年度 子ども委員会事業

子ども探検隊、親と子のコンサートを計画

子ども委員会 委員長 佐藤 健 三

今年度の子ども委員会事業は、3月の春休みに合わせ、地域の歴史を現地で学ぶ子ども探検隊と親子で音楽に親しめるコンサートを計画しています。

また、東大生出前科学授業は、新型コロナウイルスに関わる状況を踏まえ、実施について検討をいたします。



親と子のコンサート（令和2年度）

金澤翔子さん揮毫 書「飛翔」を掲額

令和2年11月3日開催の文化講演会で書家の金澤翔子さんが席上揮毫し、一関文化会議所に寄贈いただいた作品「飛翔」を、文化センター大ホール入口上部に額装し掲げております。御来館の際にはぜひご鑑賞ください。



指定管理者として 新たに指定を受ける

一関文化会議所は平成20年4月1日から一関文化センター、一関勤労青少年ホーム、一関市女性センターの指定管理者として管理運営を行ってまいりましたが、令和3年4月1日から、文化センターについては令和8年3月31日までの5年間、他の2施設については令和6年3月31日までの3年間、新たに指定管理者としての指定を受けました。継続して三館の管理運営を行ってまいります。会員の皆様の一層の御支援をお願いいたします。

文化会議所入会のご案内

NPO法人一関文化会議所に入会しませんか。一関市内に在住する個人、市内に事業所を置いている団体を募集しています。会員には数々の特典があります。

- 入会の特典
- 1 一関ふるさと学習院 講座集録
 - 2 一関文化会議所創立30周年記念誌「誘い～磐井の歴史と文化」
 - 3 一関文化会議所創立30周年記念誌「ふるさと創生三十年史」

など文化会議所発行図書等の進呈のほか、研修・視察事業実施時に一般募集より優先して参加の案内と参加費の補助、「一関ふるさと学習院」講座の無料聴講などがあります。年会費は個人(一般)3,000円・(賛助)2,000円、団体10,000円。

資料等の詳細は事務局に問合せ下さい。会員の皆様もぜひお誘い下さい。

◇入会の申し込み・問い合わせ NPO法人一関文化会議所

〒021-0884 一関市大手町2-16 一関文化センター内
電話・FAX 0191-32-4333 (月～金曜日 9:00～17:00)

NPO法人 一関文化会議所
会員入会のご案内

共に豊かな文化が実感出来る
地域づくりを目指して

- 研修・視察事業
- 「一関ふるさと学習院」新編年報・案内係員募集
- 誌録事業 「一関文化誌・奨励賞」の発行
- （東大生出前科学授業）